



天
字解國範書

口 g
1031
1

A vertical ruler scale with markings every 1/16 inch. The numbers 0 through 10 are prominently displayed in black. The number 6 is highlighted in red, and the number 10 is also highlighted in red. A red arrow points to the 1-inch mark.

鶴鳴先生國字解

翻刻
必究

唐太宗御製

帝範

平安書坊松柏堂梓

帝範國字解序

善旌圍。之後。乃以。自布衣。櫛三尺。
之劍。逐鹿中原。誅接數角。以英主。
称。お後世者。謹。る。為。之。先志。以。之。
之。二。之。固。曹操植温。而称不可。
及。即。波輩。以。席。之。心。吞噬。

一也。而矜其才，慕其氣，其為英主。
又，無以比。劉亦才也，不克文。叔
質勝而文不及。超二主而下之，其
唯唐太宗邪。太宗之文章，自成而
兼用之，是之謂以優也。帝藝十二
條，規模宏遠，嘉之彰彰，自典謨而
後規模宏遠，嘉之彰彰，自典謨而

降。嘗得益于衆職者，必唯斯編之
多，極之傳之。吾國之舊矣。博士
家以授。

御讀，予之。刻本藤禮部先君
著博士淳高跋。往昔
有之。遺文通志，嘉之。彼貞觀之故，有

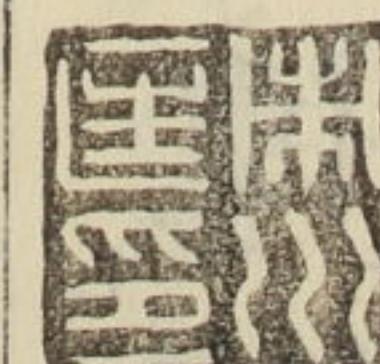
汝擲^{ハシム}成^{カニ}美^テ斯^{ハシム}偏^{ハシム}而^ヒ彌^{ハシム}章^{ハシム}
不^ハ亦^ハ宜^カ乎[。]今^ハ大^人も^{ハシム}在^{ハシム}學^{ハシム}一
字^{ハシム}不^ハ學^{ハシム}德^{ハシム}不^ハ成^{ハシム}傳^{ハシム}家^{ハシム}雖^{ハシム}讀^{ハシム}訓^{ハシム}
以^{ハシム}石^{ハシム}殊^{ハシム}竟^{ハシム}其^{ハシム}義^{ハシム}山^{ハシム}之^{ハシム}行^{ハシム}跡^{ハシム}以^{ハシム}林^{ハシム}
傳^{ハシム}多^{ハシム}妙^{ハシム}道^{ハシム}以^{ハシム}史^{ハシム}大^{ハシム}為^カ工^{ハシム}長^{ハシム}守^{ハシム}昧^{ハシム}乎[。]
極^{ハシム}是^{ハシム}甘^{ハシム}惑^{ハシム}乎[。]亦^{ハシム}松^{ハシム}柏^{ハシム}堂^{ハシム}是^{ハシム}首^{ハシム}之^{ハシム}

此^{ハシム}已^{ハシム}予^{ハシム}以^{ハシム}國^{ハシム}字^{ハシム}知^{ハシム}謂^{ハシム}凡^{ハシム}便^{ハシム}幼^{ハシム}冲^{ハシム}
也^{ハシム}若^{ハシム}國^{ハシム}字^{ハシム}知^{ハシム}乃^{ハシム}太^{ハシム}宗^{ハシム}也^{ハシム}觀^{ハシム}之^{ハシム}
資^{ハシム}也^{ハシム}其^{ハシム}才^{ハシム}風^{ハシム}三^{ハシム}章^{ハシム}也^{ハシム}文^{ハシム}也^{ハシム}稱^{ハシム}也^{ハシム}此^{ハシム}
性^{ハシム}也^{ハシム}生^{ハシム}也^{ハシム}品^{ハシム}非^{ハシム}綴^{ハシム}文^{ハシム}也^{ハシム}建^{ハシム}也^{ハシム}此^{ハシム}
膚^{ハシム}涉^{ハシム}也^{ハシム}議^{ハシム}也^{ハシム}以^{ハシム}矣^{ハシム}若^{ハシム}其^{ハシム}要^{ハシム}旨^{ハシム}殊^{ハシム}未^{ハシム}
易^{ハシム}讀^{ハシム}也^{ハシム}解^{ハシム}豈^{ハシム}以^{ハシム}為^{ハシム}幼^{ハシム}冲^{ハシム}也^{ハシム}

哉詩云。貽厥孫孫以永矣。子孫矣。
仁人君子。斯徧以備。貽謀。之多。懲
翼。大矣。遂粗疏。以。以便。時。
顧向。

天明八年戊申九月五日

臣光子承焉客舍



帝範目錄

唐太宗帝自序

君體第一

建親第二

求賢第二

審官第四

納諫第五

去讒第六

誠盈第七

崇儉第八

賞罰第九

務農第十

閱武第十一 崇文第十二

帝範序國字解

鶴鳴市川匡著

範ハ法則ナリ、帝範ハ帝王天下ヲ平治シ玉フベキ法則ト云意
ナリ、サレバ帝王ヨリ以下、一國一城ノ君、凡ソ人ノ上ニ立テ、下
ヲ取アツカフホドノ人ニハ、大ニ利益アル書ナリ、序ハ
部ノ書ノ主意ハ、カヤウクノワケナリト、云述ルヲナリ。

御製

天子ノ著作ヲ御製ト云、帝範ハ唐太宗帝ノ作ナリ、人主
ノ身ヲ脩徳ヲ樹ルノ道ヲ論ジテ、其太子ニ授ケタル書
ナリ、因テ此序文モ、太宗ノ自
作ナルガ故ニ、御製ト云ナリ。

余聞大德曰生。大寶曰位。

易係辭ニ曰、天地之大德曰生、聖人之大寶曰位トイヘリ、生ハ萬物ヲ生育スルヲ云、即チ仁德ヲ云ナリ、聖人ハ天下四海ヲ平治スル大德ノ人ヲ云、位ハ帝王ノ位ナリ、サテ序文ノ意ハ帝王ハ天地ノ神祇ヲ贊テ、萬物ヲ生育シ玉フベキモノニシテ、是帝王ノ大德ナリ、萬物ヲ生育スルハ、大仁ノ事ニシテ、曾テ萬物ヲ傷害セズ、生育ト傷害トハ、政道ノ善惡ニ在ト知ベシ、サリナガラ、大德ノ人トイヘビ、帝王ノ位ヲ得ザレバ、天下ヲ平治スルヲ難シ、既ニ天ヨリ其位ヲ授ケ玉フニ因テ、萬物ヲ生育スルヲ得タリ、サレバ其位ハ天ヨリ授ケ玉ヘル
重キモノナルガ故ニ、大寶ト云ナリ

辨其上下樹之君臣。

辨ハ差別ヲスルヲナリ、天ハ上ニ在テ尊ク、地ハ下ニ居テ卑ル、是自然ノ理像ナリ、古ノ聖人、カノ上天下地ノ理像ヲ、分別合點シテ、君臣ノ道ヲ立ルト云意ナリ、

天ハ君ノ象ナリ、地ハ臣ノ象ナリ

所以撫育黎元陶均庶類

君臣ノ道ヲ立て、大德ノ人ガ君ノ位ニ在ス故ニ、天下善治ルト云意ナリ、撫育ハ父母ノ赤子ヲ撫テ育ルニ喻テ、憐愍ヲ加ルヲ云ナリ、陶均ハ土ヲ以テ粢穀物ヲ作ルヲ、即チ教化ヲ施スノニ譬テ云ナリ、黎元庶類ハ人民ヲ指テ云フ

自非克明克哲允文允武。皇天眷命曆數在躬。安可以濫握靈圖。叨臨神器。

明ハ道理ヲ見ワクル德ヲ云、哲ハ智ナリ、賢オアル人ヲ知ワク
 ル德ヲ云、文ハ禮樂ヲ制作シテ、四海ヲ教化スル德ヲ云、武ハ世
 ノ亂ヲ治メレツムル德ヲ云、皇ハ君ナリ、皇天ハ天ヲアガメテ
 云詞ナリ、眷命ハキツト目ヲ付テ、仰セ付ルヲナリ、曆數在躬ト
 ハ帝王ニナルベキ運命が其身ニ備リテ在ト云フナリ、書經ノ
 語ナリ、握靈圖トハ帝王トナルベキ符命ヲ得ルヲ云、卽チ天ヨ
 リ物ヲカリテ、人ニ示レ玉フ前表ノフナリ、靈圖ハ河圖ト云モ
 ノナリ、伏羲ノ世ニ、河ヨリ靈圖ヲ得テ、八卦ヲ作レリト云故事
 アリ、臨神器トハ帝位ニ升ルヲ云、神器ハ帝位ノフナリ、一章ノ
 旨ハ、明哲文武ノ四德ヲ兼備スル人ハ、即チ聖人ナリ、聖人ノ帝
 運ヲ身ニ得タルモノハ、必ズ上天ヨリ目ヲツケ玉ヒテ、帝王ニ
 ナルベキヲ仰付ルニ因テ、遂ニ萬乘ノ位ニ升ルナリ、サヤウ
 ニナキ人ハ、妄リニ帝王トナルヲアタハズ、上天ノ眷命スル所
 ハ、明哲文武ノ四德ヲ兼備シテ、且亂世ニ生レし出タル聖人ナリ

ト云意ナリ、是此章ノ大旨ナリ、歷數在躬ト云一句ヲ、帝運ヲ身
 ニ得タルトスルハ、書經ノ本義ニハ非ズ、後人注解ノテチグ
 ヒナレバ、此序文ニ引トコロハ、即チ下チ

カヒノ注説ヲ用テ述タリト、意得ベレ

是以翠媯薦唐堯之德

此以下四代ノ故事ヲ引舉テ、符命ノ證據トセリ、媯ハ媯水ト云
 川ノ名ナリ、虞舜微賤ナリシ時ニ、陶器ヲレテ、住居レ玉レ所ナ
 リ、翠ハ青色ナリ、水ノ色ハ青キガ故ニ、詞ヲ飾リテ翠媯トイヘ
 ルノミ、下文ノ玄珪ト對語サセシガ爲ノミナリ、唐堯ノ時、媯水
 ノ淵ヨリ、大龜圖ヲ負テ出、即チ虞舜ノ帝位ニ升ルベキ前表ナ
 リ、因テ唐堯モ遂ニ天下ヲ禪授ケ玉ヘリト云故事アリ、天下ヲ
 他人ニユヅルヲハ、誠ニ大事ナリ、聖人至公ノ大德ニ因テナリ、
 唐堯ノ德、是ニ因テ益タカレ、故ニ薦唐堯之德トイヘリ、一説ニ

云、翠媯ハ地名ナリ、翠媯ノ淵ヨリ、大龜圖ヲ負テ
出テ、唐堯ノ帝位ニ升シヲ薦タリトイヘリ

玄珪賜夏禹之功。

玄珪ハ黑色ノ玉ナリ、夏ノ禹王水土ヲ治テ、大功アリ、遂ニ虞舜ノ禪ヲ受テ、天下ヲ有リ、其前表ニ、天ヨリ禹ニ玄珪ヲ賜フト云故事

アリ

丹烏呈祥周開七百之祚。

周ノ武王、殷紂ヲ征伐スル時ニ、赤烏武王ノ陣屋ヲ飛過テ、火光三エタリ、是殷紂ヲ亾レテ、天下ヲタモチ、七百年ノ王業ヲ開ツル吉瑞ナリシト云故事アリ、呈祥トハ、

吉瑞ヲ示スノナリ祚ハ、帝王ノ位ヲ云

素靈表慶漢啓重世之基。

漢ノ高祖卑賤ナリシ時、途中ニテ白蛇ヲ斬殺レヌ、白蛇ノ母、老女ト化キ、哭テ入ニ語テ云久、白蛇ハ、白帝ノ子ナリ、今赤帝ノ子ニ殺サレタリト云故事アリ、赤帝ノ子ハ、即チ高祖ヲ指メ云、素靈ハ、白帝ノ子ノ母ナリ、表慶ドハ、吉兆ヲアラハスナリ、重世之基ハ、前漢後漢ノ世、數合セテ四百年ナリ、

高祖果メ天下ヲ有テ、王業ヲ開キタリ

由此而觀帝王之業、非可以智競、不可以力爭者矣。

天下ノ主ナルヲハ、天ヨリ仰付ラル、ソニテ、人ノ智慧ヤ、腕ヅクニテハ、及ザルヲナリト云意ナリ、業ハ、ツメト云意ナリ、

後漢ノ班彪ガ王命

論ノ意ト、全ク同レ

昔隋季版蕩海內分崩

版ハ、叛ナリ、蕩ハ、震動ナリ、隋ノ世ノ末ニ、惡政行レケレバ、萬民上ヲ叛テ、天下崩サワギ立ツ時ニ、唐ノ太宗兵ヲ起メ亂ヲレヅメ終ニ天下ヲ平治セリ

先皇以神武之姿當經綸之會。

先皇ハ、太宗ノ父高祖帝ヲ指メ云、神武ハ、神明勇武ノ徳アルヲ云ナリ、周易屯象ニ云久君子以經綸下、經綸ハ、絲ヲ經テ、織ノ下地ヲ設ルヲ云、因テ天下草昧ノ時節ニ、一統平治スルノ道ヲ、經綸ト云ナリ、屯卦ハ、卽チ草昧ノ象ナリ、草昧トハ、天下亂レ立

テ、君臣仁義ノ道モ明ラカナラズ、上下亂逆ノ時ヲ云ナリ、經綸之會ハ、草昧ノ世ニ、王業ヲ創ベキ時節ゾト云ンガ如シ、會ハ、機

會ナ

斬靈蛇而定王業啓金鏡而握天樞

斬靈蛇トハ、漢ノ高祖ノ故事ヲ借用タルノミ、啟金鏡トハ、天下ヲ平治スルノ道ヲ行フニタトヘテ云ナリ、鹽鉄論ニ、秦失金鏡清明之道トイヘリ、天樞ハ、北斗星ノ魁ノ第一星ノ名ナリ、天子ノ象ナリ、握天樞トハ、帝王トナルベキ勢ヒアルヲ云ナリ

然猶五嶽含氣三光戢曜

五嶽ハ、五ツノ名山ナリ、太平ノ世ニハ、佳氣ト云目出タキ烟氣ヲ、山ノ頂ヨリ吐出ス、三光ハ、日月星ノ光リナリ、五嶽ハ、内ニ佳

氣ヲ含テ、外ニ發セズ、三光ノ曜モ、未ダ明ラ

カナラザルトハ、海内靜謐ナラザルニ喻フ

狃狼尙梗風塵未寧。

狃狼ハ、王位ヲ望ム謀叛人ニタトフ、梗ハ、サ
ハリアルナリ、風塵ハ、戰場ノ土烟ノ類ヲ云

リキミナリ、太宗十八歳ノ時、義兵ヲ起シタリ

余以弱冠之年懷慷慨之志。

弱冠ハ、二十歳バカリノ年齡ヲ云、慷慨ハ、勇氣ノ
民大ニ難義セシヲ、靜謐ニセント思フナリ

思靜大難以濟蒼生。

蒼生ハ、萬民ヲ云、隋ノ世ノ末ニ、天下亂レテ、萬

躬擐甲冑親當矢石。

擐ハ、甲冑ヲ衣フナリ、石ハ、石弩ノ類、親當矢石トハ、

味方ノ先陣ニ進シテ、敵ノ矢玉ノ道ニ向フナリ

夕對魚麗之陳朝臨鶴翼之圍。

魚麗ハ、左傳ニ見ユ、鶴翼ハ、孔明八陣ノ圖ニ見ユ、皆備立ノ名目
ナリ、陳ハ、陣ノ字ト同シ、或時ハ敵陣ト相對シ、或時ハ敵兵ニ取

圍ル、ヲ云、合戰ノ辛、

勞ヲ含テ云意ナリ

敵無大而必摧兵何堅而不碎。

太宗鋒先ノ剛

ヲ云ナリ

剪長鯨而清四海掃櫬槍而廓八紘

海内靜謐シ天下清明ニナレルヲ云ナリ長鯨ハ惡黨ノ人ニ喻ス櫬槍ハ妖星ノ名天下凶事アル時ハ必アラハルナリハ紘ハ八方

ト云ン

ガ如シ

既而承慶天潢濫登璇極

天潢ハ兵ヲ主ル星ノ名ナリ承慶天潢トハ天ノ助ケヲ得テ合戰ニ勝利アリシラ云ナリ璇極ハ天文ヲ正ス器ノ名ナリ帝位ニタ

トフ

龍重光之永業繼寶錄之隆基

サカナルモト井

ロクキ

重光ハ離卦ノ象王者ノ光リ重ルノ義ナリ寶錄ハ帝王トナルベキ前表ヲ記タル圖讖ト云書ヲ云ナリニ句前代ニ繼テ天下ノ主トナ

レルヲ云

戰戰兢兢若臨深御朽

戰々ハ恐懼フナリ兢々ハ戒慎フナリ臨深トハ深淵ヲノゾクナリ皆詩經ノ語ナリ御朽トハ朽索ヲ手綱ニシテ馬ヲ使フナリ書經ノ語ナリ既ニ天下ヲ有タル後

ハ政治ニユダニスヘジキヲ云ナリ

日慎一日思善始而令終

人君卽位ノ初ニハ政事ヲ念入テ慎ミ行ヘモ末年ニ至リテハオノヅカラ心ユルム所出來テ驕奢淫泆ノ害ヲ生ズルフ古今

其例多シ、故ニ古書ニノセタル聖賢ノ教戒ニ始ラ
善シテ終ラ今センヲ云タル語、アヘタ見エタリ

汝以幼年偏鍾慈愛義方多闕庭訓有乖

汝ハ太宗ノ太子ヲ指ソ云詞ナリ、義方ハ人子又ハ人臣ノ行
フベキ道ヲ云左傳ニ、教子以^{アツム}義方トイヘリ、庭訓ハ子孫ノ教ヲ
云論語ノ詞ニ

本ヅケリ

擢自維城之居屬以少陽之任

擢ハ引アゲルナリ、維城ハ王者ノ親族ヲ云、詩經ニ宗子、維城ト
イヘリ、少陽之任ハ太子ノ位ニ喻フ、王子ヨリ升セテ太子トセ
ルヲ云、任ハ

役目ノ意

未辨君臣之禮節。不知稼穡之艱難。

稼穡之艱難ハ農民耕作ノ難業ヲ云、是人君ノシラデ叶ハザル
「ナリ、モシ此難業ヲシラザル君ハ、驕奢淫泆ノ行^{オミセ}アリテ、民ヲ
愛スル心ナシ、因テ天下國家ノ危亂ヲ生

ズルナリ、不知稼穡之艱難、書經ノ語ナリ

余毎此爲憂、未嘗不廢寢忘食。

太子幼年ヨリ慈愛シ垂ルノミニテ、教訓ヲ加ルコナキガ故ニ、
未ダ政治ノ道ヲ了簡スル所アルヘジ、太宗此事ヲ苦勞ニシテ、
寢テモ寢ラレズ、食スルヲ
ヲサヘ忘却スルトナリ

自軒昊以降迄至周隋經天緯地之君。纂業

承基之主。興亡治亂。其道煥焉。

軒ハ、軒轅氏、昊ハ、少昊氏、皆上古ノ帝王ナリ、周ハ、宇文周ナリ、經矢緯地之君ハ、天地ニ法リテ、天下ヲ平治スルノ、大德アル人ヲ云、即チ開國ノ君ヲ指メ云ナリ、纂業承基之主ハ、ニ世以下ノ君ヲ指ソ云ナリ、興亡治亂ノ迹ハ、其代其代ノ史記ニ詳カナリ、是ヲ讀トキハ、古今ニ通ジテ、善道モ、

惡キ道モ、明カニ見ユルトナリ

所以披鏡前蹤、博採史籍、聚其要言、以爲近誠云爾。

前蹤ハ、古來ノ人君ノ行跡ナリ、鏡ハ、照シ合セテ考ルトナリ、史籍ハ、歴史ナリ、要言ハ、簡要ノ言ナリ、近誠ハ、身ノ訓誠ナリ

帝範上卷國字解

鶴鳴市川匡撰

君體第一
此篇ハ、人君ノ
大體ヲ論ズ

夫民者國之先。國者君之本。

人君ハ、先ツ民ヲ得テ、而後ニ國土ヲ得ルナリ、國土ナケレバ、人君ニ非ズ、故ニ國ヲ本トシ、君ヲ末トス、一二三ノ次第ヲ以テイハ、一ハ民ナリ、二ハ國ナリ、三ハ君ナリ、故ニ明君ハ、民ヲ惠ム、仁政ノ先務トスルナリ

人主之體、如山嶽焉、高峻而不動、如日月焉。

貞明而普照億兆之所瞻仰天下之所歸往

山嶽ノ句ハ、王位ノ堅固長久ニシテ、動キナキニ喻ス、日月ノ句ハ、王德ノ昭明長久ニシテ、暗カラザルニ喻ス、高峻ハ至テ高キヲ云、貞明ハ、イツモ變ラズ明ラカナルヲ云、王位ノ動キナキ、太山ノ高キガ如クナル寸ハ、天下億兆ノ八仰キ見テ愈高シト尊崇シ、王德ノ明ラカナル、日月ノ光リノ如クナル寸ハ、四海ノ外ニデモ靡從ザルモノナレト云意ナリ、瞻仰ハ、ノビアガリテ望見ル、ナリ、歸往ハ、歸服スル、ナリ

寬大其志足以兼苞平正其心足以制斷

王者ハ、四海ヲ家トス、天下億兆ノ人ハ、皆其一家内ノ眷屬ナリ、サレバ、依怙ナク、偏頗ナク、兼合セテ、仁恩ヲ與、テ治ムルハ、王者

ノ志ナリ、然レバ、其志狭小ナレバ、兼合スルヲアタハズ、故ニ其志ヲ寬大ニセヨト云ナリ、寛大ハ、天體ノ如ク、ヒロク大ニモツフナリ、制斷ハ、事ノ善惡ヲ取捌フナリ、天下ノ事ヲ、依怙ナク、偏頗ナク、トリサバクニハ、王者ノ心平ラカニ正レキ、地形ノ如ク有ベレト云ナリ、人君心志ノノ至公ナランヲイヘリ

非威德無以致遠、非慈厚無以懷民。

致遠ドハ、海外異國ニ及ス
ヲ云、民ハ、海内ノ民ナリ

撫九族以仁接大臣以禮

以仁トハ、次篇ニイヘル建親ノ道ヲ行フヲ云、
禮ヲ以テ應接セサレバ、大臣ハ、君ニ叛フアリ

奉先思孝處後思恭傾己勤勞以行德義此爲君之體也。

先ハ、先祖ナリ、先祖ノ後ニ居テハ恭敬ヲ勤ルナリ、傾

包トハ身ヲ打ハメルヲ云、勤勞ハ骨折テ勤ルヲ云

建親

第二

此篇ハ、親族ニ土地ヲ

論ズ

夫六合曠道大寶重任

六合ハ天下ヲ云、曠道ハ土地廣ノ遠キヲ云、大寶ハ帝王ノ位ヲ云、重任ハ重キ役目ヲ云、天下ヲ治ルヲハ、役目ノ重キモノナリ

曠道不可以偏制故與人共治之重任不可

以獨居故與人共守之

此數句封建ノ主意ヲ述ルナリ、廣キ天下ハ王者一人ニテ、手ノ廻ルモノニアラズカ、ル重キ役目ハ王者一人ニテ、引受テハ居ラレヌト

云意ナリ

是以封建親戚以爲藩衛

土地ヲアタヘテ領地サスルヲ、封ズト云、建ハ諸侯ヲ立ルヲ云ナリ、藩ハ垣ナリ、衛ハ守リ、諸侯ハ王者ノ垣根トナリ、守護トナリテ、各其拜領ノ土

地ヲ治ルモノナリ

安危同力盛衰一心遠近相持親疎兩用則

并兼路塞逆節不生。

安危盛衰ハ常ト變トノ時ヲ云、同力一心トハ、相親相助ルヲ云、遠近ハ、王都ヨリ近キ國ト遠キ國トヲ云、親疎ハ、王者ノ近親ト遠類トヲ云、相持兩用トハ、王者ノ諸侯ヲアレラヒ玉フ所偏頗有ヘカラザルヲ云、并兼ハ、強キモノハ、弱キモノヲ伐テ、其土地ヲ并セ取ヲ云、逆節ハ、叛逆ヲ云ナリ、王者ト諸侯トノ交リ正路ニテ、又諸侯ト諸侯ノ交リモ正路ナレハ、人ノ土地ヲ子ラフ者ナク、又謀反人モ出來ルヲナレトナリ

昔周之興也。割裂山河。分王宗族。內有晉鄭之輔外有魯衛之虞。故卜祚靈長歷年數百。

晋鄭魯衛ハ、周ノ天子同姓ノ諸侯ナリ、晋鄭二國ノ君ハ、嘗テ王朝ニ仕ヘテ、政ヲ輔佐セリ、故ニ内ニトイヘリ、虞ハ、守備ノ意ナリ、祚ハ、王位ナリ、周天下ヲ有ツ始ニ、其世數ヲト

レテ、七百年ノ數ヲ知タルヲアリ、左傳ニ見ユ

秦之季葉淳于之策納李斯之謀。不親其親。獨智其智。顛覆莫持。一世而亡。

淳于越ハ、親戚ヲ封建セニヲ勸メ、李斯ハ、封建ヲ拒ム、秦ノ始皇、李斯ガ謀ヲ用フ、始皇死レ、二世胡亥即位レテ、間モナク秦七ヒタリ、史記ニ悉ク見ユ

斯豈非枝葉扶疏則根柢難拔。股肱既隕則

心腹無依者哉。

扶疏ハ盛ナル意ナリ、柢モ根本ナリ、周ノ封建ハ其道宣レタ
ヘバ樹木ノ枝葉繁ル寸ハ、其根本モ因テ堅固ナルガ如レ、秦ハ
封建ノ道ヲ用ヒズ、ダトヘハ人手足ヲ失フ寸ハ、其
心腹モ因テヨルベナクシテ死スルガ如レトナリ

漢祖初定關中戒亡秦之失策廣封懿親過
於古制。

漢ノ高祖、秦ヲ滅レ、楚ニ勝テ、關中ニ帝都ヲ定ム、其時秦ノ親戚
ヲ棄去ガ故ニ、忽チ込ビタル、李斯ガ邪謀ヲ鑑戒トシ、因テ王子
弟ヲ封ジタリ、然レビ領地ヲアタフル、古ノ周制ニ
比スレバ、廣スギタリトナリ、策ハ、謀ナリ、懿ハ、美ナリ

大則專都偶國小則跨郡連州

是古制ニ過タルヲ云ナリ、領知ノ大キナルモノハ、其都城ノ
仕置ヲオノレガ自由ニシテ、天子ノ下知ヲ用ヒズ、又ハ他國ト
互ニイキホヒラ張アフナリ、偶ハ匹敵ノ義ニテ、張アフ意ナリ、
領知ノ小キモノモ、數郡ヲ飛越レ、數州ヲ連子テ知行スルナリ

末大則危尾大難掉

樹ノ根ヨリ枝大ナレバ必ズ枝ガ折ルナリ、獸ノ尾、其身ヨリ大
ナレバ、ウゴカレニクレ、末ト尾トハ、諸侯ニタトス、王者ノ自由
ニナシガタキ
タトヘナリ

六王懷叛逆之志。七國受鈇鉞之灾。此皆地

廣兵強ツヨク積勢之所致也。

六王ハ淮南厲王淮南王安衡山王賜趙王遂濟北王興居梁孝王武ヲ云七國ハ楚王戊吳王濞燕王遂濟南王辟光留川王賢膠西王卬膠東王雄渠ヲ云鉄ハ質アハナリ人ヲ腰斬スル臺ナリ、鐵ハ斧ナリ腰斬ノ兵ナリ、六王七國皆漢ノ親族ナリ謀叛レテ誅伐セラル漢書ニ

本傳アリ

魏武創業暗於遠圖。

魏ノ曹操帝業ヲ草創レ其子曹丕漢ヲ亡レテ帝位ニ即キ操ヲ追謚ツヨシシテ武帝ト云遠圖ハ後世子孫ニ及ボス善計ヨキハカラマトナリ

子弟無一戸之民宗室無立錐之地。

カクノ如ク親族ヲ封建セ

ザルガ遠圖ニ暗キ所ナリ

外無維城以自固カタム内無磐石以爲基。

親族ヲ封スルヲ維城ノ固カタム一云京師ノ外城ト云

意ナリ又磐石ノ基モチナリトモ云磐石ハ動ザル意ナリ

遂乃神器保於他人社稷亡於異姓。

神器ハ帝位ヲ云社ノ神稷ノ神ハ國土ノ鎮守ニテ王者諸

侯ノ祭ル所ナリ魏ハ晋ノ武帝ニ込サレ帝位ヲウバ、ル

故諺曰流盡則源盡條落則根枯此之謂也。

川ノ流ト木ノ枝トハ親族ニ喻

夫ス源ト根トハ宗國ニタトフ

夫封之太強則爲噬臍之患致之太弱則無
固本之隆

宗族ニ土地ヲ與ヘシニ、其勢ヒヲ甚ダ強カラレムルモ、甚ダ弱カラレムルモ、宜レカラズト云ナリ、噬臍トハ後悔其詮ナレト云タト

ヘナリ

由此而言莫若衆建宗親而少力使輕重相
鎮憂樂是同

衆建ハ親族ヲアヘタ王侯トスルトナリ、宗親ハ一門ナリ、少力トハ、一門ヲタクサン大名ニレテ領知ハ少レツ、アタヘルナ

リ、サスレバ、其勢カ少キ故ニ、我ハ、ナドスル氣ヅカヒナレト云意ナリ、輕重相鎮トハ、相互ニ才モリトナリテ危ヲ救ヒ、憂樂是同トハ、相互ニ親愛

サスルト云意ナリ

則上無猜忌之心。下無侵寃之慮。此封建之
鑒也。

上文ノ如ク、封建ノ制ヲ宜レク定ムル寸ハ、上ハ王者人心ニ、宗親叛逆セシカト猜忌フナク、下ハ宗親ノ心ニ、王者ヨリ誅罰ヲ被ラニカト、思ヒ過スフナレト云意ナリ、侵ハ領知ヲ削ラ、ナリ、寃ハ、無實ノ罪ヲ得ルトナリ

○斯一者安國之基

此以下ハ、總論ナリムニツノ

者ハ、君體建親ノ道ヲ云

君德之弘。唯資博達。ヒロキ。ヨルハクタツ。

君ノ徳ハ、衆人ノ上ニ立モノ故ニ、狹テハ、事ニ害アリ。聖人ノ道ヲ學テ、其徳ヲ弘大ニスベシト云意ナリ。資ハ、聰ケトスルコナリ。博達ハ、學文ノ功ナリ。博學ナレバ、智見モ通達ス、達ハ、物ニ滞ラザル意ナリ。

ニウケ
カケ
ス
ヲ

道術ヲ以テ民ヲ導ク寸
ハ、教令行レ易キナリ

應務適時○以道制物○

道術ヲ以テ事ヲ定ムレバ、時務ニ應レテ、事宜ニ違
フフナレ、物ハ、政事ヲ云、道術ハ、聖人ノ道術ナリ

術以神隱爲妙道以光大爲工

括蒼旻以體心則民仰之而不測

是術ヲ以テ民ヲ化スルヲ重子イフナリ、蒼旻ハ天ヲ云、天ノ所爲ヲ引括テ、我心ヲ天ト一體ニレテ、民ヲ教化スル寸ハ、我シワザモ、神隱ノ妙ニ至ル故ニ、仰キテ從ハサルモノナレ、且民ノワザモ、神隱ノ妙ニ至ル故ニ、自然ニ善化ヲ蒙ルヲ以テ、我シワザヲ窺測ルヲナラザル故ニ、自然ニ善化ヲ蒙

九
ト

若厚地以爲量則民循之而無端

コレ道ヲ以テ物ヲ制スルフラ重子云ナリ、地ハ物ヲ容ルフ量
ナレ、山岳ヲ載ノヤ、河海ヲ收ヨサムルモノナリ、我器量ヲ、地ト一體ニレテ、
物ヲ制スル寸ハ、我道モ光大ノ工ミニ至ル、故ニ民レタケフテ、背
モノナレトナリ、無端トハ、我道光大ニレテ、際限ナキガ故ニ、民
計リ得ルフナ

タウ
トメ
レジ
ムナリ
ルタカハ
タウ
トメ
レジ
ムナリ
ルタカハ

蕩々ハ廣々遠キ意ナリ、上文ノ如久人主ハ天地ノ徳ニノツト
リテ、民ヲ化レ、物ヲ制スレバ、民窺ハカルフナラズ、オモヒハカル

ルノナラズレテ、ビタスラニ教化ノ下、ニ従フノミ因テ上ノ
レワザヲ、下ニテ何トモ批判スルヲアタハズレテ、又下知ニ違
フモノナレト云意ナリ、以上君體ヲ重

且敦穆九族放勲流美於前克比諧蒸榮崇重華

垂譽於後。ニ

放歎ハ帝堯ノ號ナリ、美ハ美名ナリ、諧ハ和合ナリ、蒸々ハ進ム
意ナリ、進テ善ニ入ルナリ、重華ハ帝舜ノ號ナリ、舜ノ父母ハ惡
人ナリレカ氏、舜ヨク孝德ヲ以テ和合レ、父
母氏ニ終ニ善人ト成タリ、書經ニ悉ク見ユ

無以軒破義。無以疎間窺。

軒、佞ノ言ヲ聽テ、正義ノ言ヲ用ヒズ、疎遠ノ讒ヲ信シテ、親族ノ恩ニ乖クオハ必亂害ヲ生ズ、故ニコレヲ戒ムルナリ。察之以明撫之以德、則邦家俱泰骨肉無虞良爲美矣。

我明智ラ以テ、人ノ言ヲ察シテ、ヨク善惡ヲ聞ワカル才ハ、軒ラ以テ義ヲ破ルノ害ナレ、我恩徳ヲ以テ骨肉ノ親族ヲ撫育スレバ、疎ヲ以テ親ヲ間ルノ害ナレ、骨肉ハ親族ヲ云、無虞トハ、心ヅカヒノフナキナリ

求賢第三

此篇ハ、賢人ヲ求ムベキヲ論ズ

夫國之匡輔必待忠良任使得其人天下自

治。

匡輔ハ君ヲ國レ君ヲ輔ノ宰相ヲ云ス、風塵ベイ士競、任使ハ政事ヲマカセテサセルノナリ

故堯命四岳舜舉八元以成恭己之隆用贊

欽明之道。

四岳ハ堯ノ時ノ宰輔ノ官ナリ、四方ノ諸侯ヲ支配スルヲ掌ノ役ナリ、欽ハ敬慎ノ義ナリ、欽明ノ二字ハ書經堯典ニ見ユ、欽明之道ハ、卽チ聖徳ヲ以テ太平ヲ致スノ道ト云シカ如レ、堯賢者ニ命ジテ四岳ノ官トシ、四方ノ諸侯ヲ教導セレカバ、四岳モ堯ノ聖徳ヲ輔佐シテ、成功アリシト云意ナリ、八元ハ、八人ノ賢者ナリ、元ハ、奉行頭人ニナルベキ徳ヲ云、恭己ノ二字ハ論語ニ

出ツ、入君其徳ヲ守リテ、自分ニテ作用スルヲナク、賢者ニ任せ
テ、萬事滯リナク、國家太平ニ治ルヲ云、舜ノ天下ヲ治ルヲ
ノ如シ、唯八人ノ賢者ヲ舉用テ、太平ノ隆ヲ
致セリト云意ナリ、八元ノ事ハ、左傳ニ見ユ

士之居ル世賢之立身莫不戢翼異隱鱗俟風雲
之運懷奇蕪異思心會遇之秋

戢翼隱鱗トハ、賢士ノ其才能ヲアラハサズ、隱居レテ運命ヲ待
ニタトフ、タトヘバ大鳥ノ鳴ズ飛ズ、又龍ノ潛蟄テ、天ニ冲リ雲
ニ乗ベキ時節ヲ待ガ如シ、風雲之運ハ、聖主賢臣相逢ヲ得タ
ル時節ヲ云、龍吟ズレバ雲起リ、虎嘯ゲハ風生スト云語ノ意ナ
リ、懷奇蕪異トハ、奇異智謀ヲ畜オクヲ

云、會遇之秋モ、君臣出會ノ時節ヲ云

是以明君傍求俊乂博訪英才搜揚仄陋

俊乂ハ賢人ナリ、搜揚ハ尋求テ位ニア

ケ用ルナリ、仄陋ハ民間ノ賢人ナリ

不以卑而不用、不以辱而不尊

卑賤ノ人ハ伊尹呂望ノ類ナリ、
恥辱ノ人ハ夷吾韓信ノ類ナリ

昔伊尹有莘之媵臣

殷ノ湯王未ク諸侯タリレ時、有莘氏ト云諸侯ヨリ婚娶ス、伊尹
ハ湯王ノ聖德ヲ知テ、仕宦ヲ求ントスレバ、其由ナレ、因テ媵臣
トナリテ、湯王ニ相見レ、食味ヲ料理スルノ說ヲ以テ、天下ヲ平
治スル道ヲ述タリ、湯王伊尹が賢ヲ知テ、宰相トレ、遂ニ夏桀ヲ

込ボレテ、帝王トナリヌ、史記諸書ニ見

ユ、媵臣ハ、婚女ヲ送リ届ル役人ナリ

呂望渭濱之賤老。ナリ

太公望渭水ニ釣レテ、隱レ居ケルニ、周ノ文王其賢ヲ

知テ、宰相トス、史記諸書ニ見

ユ、呂ハ太公ノ姓ナリ

夷吾困於縲紲。

夷吾ハ、管仲ガ名ナリ、縲紲ハ、罪人ヲ縛索ナリ、齊ノ公子糾、其弟桓公小白ト戰テ死ス、管仲ハ、公子糾ガ傳ナレバ、敗軍ノ後囚入トナリシニ、桓公其賢ヲ聽テ、罪ヲ

赦レ、執政トス、左傳史記ニ見

韓信弊於逃亡。カウ

漢ノ高祖漢王タリシ時、韓信重役ニ用ヒラレザルヲ憤リテ、逃去ル、漢王ノ家老蕭何追カケテ連歸リ、韓信ハ國士無雙ナリト進メケレハ、漢王其言ヲ聽

テ、大將トス、史記ニ見

然而商湯不以鼎俎爲羞。ナリ

商湯ハ、卽ナ殷湯ナリ、鼎ハ鍋ナリ、俎ハマナ板ナリ、湯王伊尹ヲ用タルヲ云ナリ

姬文不以屠鈞爲恥。ナリ

姬ハ周ノ姓ナリ、屠ハ肉ヲ料理スルヲナリ、文王太公望ヲ用タルヲ云ナリ

卒能獻規景毫光啓殷朝。ナリ

規ハ法度ナリ、景毫ハ地ノ名ナリ、殷ノ湯王、諸侯ヲ景毫ニ會合シテ、下知セル時、伊尹法度ヲ定メテ、湯王ニ奉ル、因テ殷ノ威徳天下ニ行ケルス。

光啟スト云ナリ

執旌

牧野

會昌周室

周ノ文王ノ子武王、殷紂ヲ伐シ時、牧野ト云地ニテ戰フ、太公旌ヲ執テ軍師タリ、遂ニ殷ヲ滅シ、天下ヲ有ツ、諸侯會合シテ、周室繁昌セシハ太公ノ勲。

功ナリト云意ナリ

齊成

一匡之業

實資仲父之謀

齊ノ桓公霸者トナリ、九合諸侯、一匡天下、是管仲ガ大功ナリ、仲父ハ管仲ヲ親ミ禮スルノ號

漢以六合爲家

寔賴淮陰之策

以六合爲家トハ、四海ヲ有ツ

ヲ云、韓信淮陰侯ニ封セラル

故舟航之絕海也。必假橈櫓之功。鴻鵠之凌

雲也。必因羽翮之用。帝王之治國也。必藉匡

弼之資

航モ舟ナリ、橈櫓ハ、カイノ類ナリ、鴻ハ、雁ノ大キナルモノナリ、鵠ハ、大鳥、鶴ニ似テ、大キナルモノナリ、翮ハ、風切羽ナリ、匡弼ハタバ、シタスクルト訓ズ、宰輔ノ官ヲ云、帝王ノ國家ヲ治ル「ハ必ズ賢徳ノ人ヲ求テ宰輔トレ、其タスケニ因テ、太平ヲ致ス」ナ

リ、タトヘバ船ノ橈櫓ヲ得テ、水ヲワタリ、大鳥ノ羽翮ニ因テ、天ニ翔ルヲ得ルが如レ、國ノ賢宰相アルハ、船ノ橈櫓、大鳥ノ羽翮アルガ如レト云タトヘナリ、誠ニ賢臣乏キ寸ハ、聖主トイヘバ、國家ヲ治ルヲハアタハズト知ベシ。

故求之斯勞任之則逸。

賢者ヲ求ルヲニ若勞シ玉フハ、人君ノ職ナリ、初メ求ルニハ、苦勞スレボ、賢者ヲ得テ、萬事ヲ打任スル才ハ、人君後日ニ安逸ニナリ玉フト云意ナリ、

逸ハ、テクニナルヲ云

雖照車オホキ十二黃金累千豈如多士之隆。一賢之重此求人タトキ之貴也。

車十二兩ヲ照ス珠アリ、史記ニ見ユ、多士ハ諸役人ヲ云、一賢ハ賢宰相ヲ云、執政ノ人賢徳アレバ、諸役人皆善良ナリ、サレバ天下ノ寶珠萬千ノ黄金モ、一賢

人ニハ及ザルヲ明ラカナリ

審官第四

此篇ハ、諸役人ノ次第ヲ、其器量々々ニ從テ申付。

付ヲ論ズ、審ハツビラカニスルヲナリ

夫設官分職所以闡化宣風。

衆官諸職ヲ立ルヲハ風化ヲ行シガ爲ナリ、風化ハ、自然ト教化スルヲナリ

故明王之任人。如巧匠之制木。直者以爲轍。

曲者以爲輪。長者以爲棟樑。短者以爲拱桷。

無曲直長短各有所施。

上手ナル大エハ、材木ノ曲直長短ニ隨テ、ソレ
くニ用立ル故ニ、天下ニ棄材ナキナリ

明王之任人亦猶如是也。智者取其謀。愚者
取其力。勇者取其威。怯者取其慎。無智愚勇
怯兼而用之。

取手用立ルラ云。愚癡ノモノヲバアラワザノ役ニ云
付ルナリ。怯者ハ臆病モノナリ。天下ニ棄士ナキナリ

故良匠無棄材。明君無棄士。

此木ハツカヒニクシ。彼木ハ用立ストテ。棄モノニスルハ、下手
大エナリ。此以ハコヽニ癡ガアル。彼以ハアソコニ難ガアルト
テ。棄モノニスルハ、
暗君ナリト知ベシ。

不以一惡忘其善。勿以小瑕掩其功。

一ツニツノ了。簡チガヒ。又少々ノキズハ、才能ノ人ニモ有トナ
ルヲ。毛ヲ吹テ疵ラ求ル類ハ、明君ノシワザニアラス。故ニ戒ム
ルナ

割政分機盡其所有。

諸役人ヲ置クハ、政務ヲ小割シテ、人々ニ分チ與ルタメナリ。才
能人々同ジカラズ。其殊ナル所ニ隨テ、人々モチマヘノハタラ

キヲ用ヒ盡ス

ベシトナリ

然則涵牛之鼎不可處以烹雞。捕鼠之狸不可使之搏獸。一鈞之器不能容以江漢之流。百石之車不可滿以斗筲之粟。

牛ヲ烹ナベハ至テ大キナル故ニ、雞ノ如キ小キ物ヲ烹トキハ、水ヲ少レ入レバ焦ツキ、水ヲタント入レハ水クサクテ味ナキナリ、一鈞ハ重サ三十斤ナリ、小キ器ヲ云、筲ハ一斗ニ升ナリ、ワヅカノ米ヲ云、器物モ大小ソレクニ用ヒ方アリ、兼備セザルト云喻ナリ

何則。大非小之量。輕非重之宜。

物各宜キ所アリ、人ノ才能モカクノ如レ

今人智有長短。能有巨細。或充一百而尚少。或統一而已。多

事ヲ取アツカハスルニ、百事紛雜ナレハ、事モナゲニ能ヲサムル人アリ、又一事ヲ支配サスルニ、大造ニ思フ人アリ、是人々性質才智不同ナ

ルガ故ナリ

有輕材者不可委以重任。有劣智者不可責以大功。

輕材ハ小器量ナリ、重任ハ重キ役ナリ、劣智ハ、

卑劣ナルヲ簡ナリ、二句勞シテ功ナキヲ云

君擇臣而授官。臣量己而受職。則委任責成。

不勞而化此設官之審也。

責成トハ成功ヲ催促スルヲ云ナリ、役ワ

リノ次第ハアヤシクスベカラズトナリ

○斯二者治亂之源也。

此以下總論ナリ、ニツノ者ハ求賢審官ノ道ヲ云、其道ヲ得レバ治リ、失フオハ亂ル

立國制人資股肱以合德宣風導俗俟賢明

而寄心

賢臣ハ君ノ手足ナリ、明君ハ必賢臣ト德

ヲ合セ、心ヲ寄セテ、政教ヲ行フトナリ

是以列宿騰天助陰光之夕照百川决地添

溟渤之深源

列宿ハ二十八宿ノ星ヲ云、陰光之夕

照ハ月ノ夜光ヲ云、溟渤ハ大海ナリ

以海月之凝朗猶假物而爲大。

海ハ凝モノナリ、月ハ朗モノナリ、物ハ列宿ト百川ヲ指ス、上文ニ云如久明月サヘ星輝ノ助ケラカリ、大海サヘ百川ノ助

ケヲカル

ト云ナリ

况君入御下統極理時獨運方寸之心以括九區之內不資衆力何以成功

統極ドハ皇極ヲ合セトルヲ云、皇極ハ政治ノ根本ヲ云ナリ、書經洪範ニ見ユ、區ハ、シキリナリ、九區ハ九州ヲ云、天下ト云ニガ如レ、王者一人ノ心ヲ以テ、四海ノ事ヲ引ク、ラントス、是甚ダ難事ナリ、故ニ多士衆賢ノ助ケヲカリテ、其功ヲ成就スルト云意ナリ、即チ上文海月サヘ物ヲカリテ其大ヲナスト云喻ヘノ意ナリ

必須明職審賢擇才分祿

衆賢ノカニヨラ、サレバ國家ハ治ラサル故ニ役義ノス、チヲ明ラカニ定テ、賢オヲ其役々ニ申付ケ、其分限次第ニ、祿位ヲ分チ與ヘヨ

トナリ

得其人則風行化洽失其用則虧教傷民

賢オヲ選ミテ相應ノ人ヲ得ル寸ハ、教化

必行レ、サモナケレバ害ヲ生ズルナリ

書曰則哲唯難良可慎也

虞書臯陶謨ニ、知人則哲能官人トイヘル語ヲ、斬トリタルモノナリ、哲ハ智ナリ、ヨク人々ノ才能ヲ知フハ、智者ノ事ニシテ人材ハ知ガタキモノナリ、人君之道ハ、我智ヲハタラカルモノニ非ズ、唯賢オノ人ヲ知テ用ルス人君ノ智トス、サテ衆人ヲ見

ワクルフハ、大事ニセ子
バナラズト云意ナリ

納諫第五

此篇ハ臣下ノ諫言ヲ
聽納ベキヲ論ズ

夫王者高居深視虧聰阻明

人君ハ高殿ノ上ニ居テ、奥ブカク住テ、目ヲツカヒ玉フ故ニ、耳ニ聞フ、目ニ見ルフ、スベテ行届サル間チガヒアリトナリ、聰明ハ耳目ヲ云、誠ニ深宮高閣ノ中ニ居玉フ君ハ、世間ノ利害萬民ノ悲歡モ、見聞クハレカラズト知ベレ

恐者過而不聞懼有闕而莫補

人君見聞悉カラ子ハ、アヤマチ有ヤスレ、スキマ有ヤスレ、過ヲキハ、闕ヲ補フハ、諫ヲ納ルニレクモノナレ

所以設韜樹木思獻替之謀傾耳虛心佇忠正之說

韜ハ、ブリツ、ミト云モノ、類ナリ、周ノ武王宮門ノ前ニ韜ヲオキテ、四方ノ士、政事ノ得失ヲ申上ント欲スル者ハ、韜ヲ鳴シ、武王韜ノ聲ヲ聞テ、對面セリト云、故事アリ、獻替ハ、下ヨリ善事ヲ獻上シ、アレキヲハ、替去シヲ申上ルト云意ナリ、又古聖人ノ世ニハ、道路ニ木ヲ立オキテ、誰ニテモ、政事ノアレキヲバ、右ノ木ニ書付サセテ、其子細ヲ聞タリ、因テ誹謗ノ木ト云、誠ニ深キ慮ナリト知ベシ、然ル、下々ノ人、政事ノ得失ヲ批判スレバ、上ヨリ禁斷シテ、或ハ刑罰ニ行フ、後世ノ政ニアリ、是秦ノ始皇ガ

惡法ナリ

言之而是雖在僕隸芻蕘猶不可棄。

僕隸ハ奴僕ノ類ヲ云芻蕘ハ草カリ木コリノ類ヲ云詩經ニ文王詢于芻蕘古語ニ狂夫之言聖人擇焉ト云意也。

言之而非雖在王侯卿相未必可容。

其事ノ是非ヲギシニセズレテ輕キモノ、言ヲバ必棄テ用ズ、重キ人ノ言ヲバ枉テサヘ聽フ、凡情ノ常ニシテ暗君ノ病ナリ、故ニ戒ム。

ルナリ

其義可觀不責其辨其理可用不責其文。

臣下ノ言ハ唯其義理ノ宜キ所ヲ賞味セヨ、辨舌ノ不足ト、文詞ノ陋拙トハ咎ムルヲナカレトナリ。

至若折檻壞疏標之以作戒。

漢ノ朱雲直言ヲ申上テ成帝ノ心ニ忤^{カク}帝怒テ外へ引出サシム、朱雲殿檻ニスガリテ引折タリ、後ニ朱雲ガ罪ヲ赦レ、且檻ヲ改メ作ラントルオニニ帝ノ云、捐ジタルトニツクロヒオキテ、直言ノ臣ノ名ヲ顯スベレントイヘリ、檻ハ階上ノ手スリナリ、漢書ニ見ユ、魏ノ文侯失言アリケレバ、樂師師經、瑟ヲナゲテ文侯殺シトス、師經ガ曰、臣ハ桀紂ガ如キ無道ノ惡言ヲ申レタル人ヲ撞ケルニ、アタラズ、疏ニ中リテ、格子ヲ打ヤブリス、文侯怒テ侯感賞シテ、師經ヲ赦シ、クヅレタルナリニ、窓ヲ修補シテ、三ツカラノ戒トセリ、師經ハ盲人ナリ、疏ハスカシ窓ナリ、說苑ニ見ユ、引裾却座顯之以自非。

魏ノ文帝過失アリ、又群臣ノ諫ヲ聽ズ、其座ヲタチテ奥へ入ントスル寸、辛毘、帝ノ裾ヲ引留テ、直諫セレカバ、遂ニ其諫ニ從ヘリ、魏志ニ見ユ、漢ノ景帝慎夫人ト云妾ヲ寵愛シテ、皇后ト同座セシム、或時袁盎夫人ノ座ヲ引下シカバ、景帝夫人共ニ怒リケレバ、袁盎ガ曰、尊卑ノ禮正シケレバ、上下和合ス、今妾ヲ愛シテ、皇后ト同座セシムルハ、却テ慎夫人ノタメニ、禍ヲ招クノ道ナリト申レケレバ、帝モ大ニ感心シ、夫人モ袁盎ヘ謝禮アリ、漢書ニ見ユ

故忠者瀝其心、智者盡其策、臣無隔情於上、君能遍照於下。

上文ノ故事ノ如久君、ダモ臣下ノ諫ヲ聽
寸ハ、君臣上下一體ノ義ヲ全クストナリ

昏主則不然。說者拒之以威、勸者窮之以罪。
昏主ハ、學問ヲキラヒ、オノレガ私智ヲタノミテ、聖人ノ道ニ昏君ヲ云、道理ヲ説モノヲバ、オソロシ威光ダテヲ以テオドレツケ、善ヲ勸ルモノヲバ、他ノ過失ニ因テ罪スルトナリ。

大臣惜祿而莫諫、小臣畏誅而不言。

臣下皆其口ヲ閉テ居ルナリ、惜祿トハ、知行ヲ取アゲラル、ヲ悲テ、知行ヲ貪リサルヲ云、暗君ノ朝ニ仕ヘル大臣ハ、真ノ賢者ニアラザ

レバナリ

恣暴虐之心、極荒淫之志、其爲壅塞無由自

大也。ヨウノヨレニシテ、ヨリ

知。

暴虐ハ罪ナキ人ヲ罪科ニ處シ或ハ手討ナドスルヲ云荒淫ハ酒色犬馬鶉鷙田獵等ノ遊樂ニ耽^{カクル}ヲ云壅塞ハ君臣上下ノ交リフサガル^トナリ、天地否ノ時節ヲ云臣下口ヲ閉ルニ因テ、暗君ハ身ノアヤマチヲ聞^トナクアヤマチハナキト思^フナリ、^{オモハラク}以^ハ爲^ハ德超^{コエ}三皇^{ミツノミコト}材過^{タリ}五帝^{ゴウ}至於身亡^ヒ國滅^{ホドル}豈不悲矣。此拒諫之惡也。

材德昔ノ大聖人ヨリモ勝レリト、益^{カク}ホコルハ暗君ノ通例ナリ、コレ秦ノ始皇隋ノ煬帝ノ輩ナリ、三皇五帝ハ昔ノ大聖人ヲ云去^{キヨ}讒^{ガシ}第六^{シズ}此篇ハ讒^{ガシ}ノ臣ヲ退^{カクル}ヲ論ズ、賢士アリトイヘモ、讒^{ガシ}ノ臣ヲ去^{カクル}ザレバ不意ノ惑

ヲ生ジテ、功ヲ成^トカタシ、サレバ求賢審官ノ事モ、讒^{ガシ}ヲ去テ、全ク成就ス、且諫^{カカル}モ君子小人ノ言ヲエラミワケザレバ、其詮ナシ、去^{カクル}讒^{ガシ}

夫讒^{ガシ}佞^{チイ}之徒^タ國之蟹^{ハタクジ}賊^{ジク}也。

蟹^{ハタクジ}賊^{ジク}ハ苗^ヲ食^フ蟲^{ナリ}、讒^{ガシ}佞^{チイ}ハイツトモナク國ヲ害スルモノ故ニ、彼蟲ニタトヘタリ

爭榮華於日夕^タ競勢利於市朝^タ

榮華ハ富貴ノ榮耀^{エホウ}ヲ云、富貴ヲ得^シト朝夕相爭フトナリ、勢利ハ權勢利潤^ヲ云、市朝ハ朝廷^ト城下ノ市^ヲ云、公私ノ^トニツケテ、ステ勢利ヲ得^シト競フトナリ、ニツノ者ハ小人ノ病根ナリ

以其詭諛之姿惡忠賢之在己。上懷其奸邪之志。怨富貴之不我先。

外面ハヘツラヒ、内心ハヨコレナルハ、小人ノ性ナリ、忠賢ノ人ヨリ位ノ肆ヲラキラヒ、又我サキニ富貴ナラシヲ願フ、故ニ争ヒ競フ心甚シキナリ。

朋黨相持無深而不入。比周相習。無高而不昇。

朋黨比周ハ連衆ヲ結ビテ、私欲ヲ談合スルヲナリ。小人ハ夕トヘバ、深淵ノ入ニクキガ如キ所。高山ノ登リニクキガ如キ所。

令色巧言以親於上。先意承旨以悅於君。讒佞ノ人、其君ニ取入ルノ道ヲ述ルナリ。先意承旨ドハ未ダ君ノ仰出シナキ以前ニ、ハヤ君ノ心ヲ推量レテ、其事ヲ行フトナリ。是以朝有千臣。昭公去國而方悟。

宋ノ朝廷ノ臣千人皆讒佞ノ輩ナルヲ、昭公ハ良臣ナリト意得テ、コレヲ悦ビ、我千人ノ臣、我ヲ聖人ナリトイヘバ、我ハ必王トナルベシト、常ニイヘリ。遂ニ國亂レテ、昭公他所へ逃レ去レシ。始テ千臣ノ奸邪ナルヲ知トナリ。弓無九石。宣王終身而不知。

石ハ弓ノ重サラ試ノ名ナリ、九石ハ強弓ナリ、周ノ宣王強弓ヲ
引ト自贊シケレバ、羣臣ヘツラヒ偽テ、御執ノ弓ハ重九石アリ。
ト云、宣王サユソアラメト思フテ、一生羣臣ノ
偽言ヲレラズ、實ハ重サ四石ノ弓ナリトナシ。

以疎間親宋有伊戾之禍。以邪敗正。楚有郤
宛之誅。

疎ハ他人ナリ、親ハ親族ナリ、宋ノ伊戾ハ太子ヲ罪ニ落シ楚ノ
費無極ハ郤宛ヲ殺ス、皆奸邪ノ謀ヲ行フテ、親族ヲ害シ正人ヲ
殺セリ、左、
傳ニ見ユ。

斯乃暗主庸君以之迷惑忠臣孝子所以泣

寃

庸君ハ凡心ノ君ナリ、明君ニ非ルヲ云、迷惑ハ讒言

ニマヨハサル、ヲ云、寃ハ無實ノ罪ヲ蒙ルヲ云

故叢蘭欲茂秋風敗之王者欲明讒人蔽之
此奸佞之危也。

叢蘭ハ賢人ニタトフ、秋風ハ讒人ニタトフ、明ハ、善惡ヲ
見ワクルヲ云、讒人ハ君ノ目ヲクラマスモノナリ

○斯二者昏明之本也。

ニツノモノハ納諫去讒ノ二事ナ
リ、明主ハ納諫、暗主ハ從諫ナリ

砥躬礪行莫尚於忠言。毀德敗心莫逾於讒
佞。

砥躬ドハ身ヲ脩ルト云シガ如レ、
礪行ドハ德ヲ勉ルト云ニガ如レ

今人顔貌同於目際猶不自瞻况是非在無
形奚能自覩。

自身ノ顔カタチハ形アレビ吾目ニ見エズ我言行ノ
是非ハ形ナケレバ愈ミヅカラ分別シ難シトナリ

何則飭其容者皆能窺於明鏡脩其德者不

知訪於哲人拒善自愚何迷之甚。

吾容貌ス鏡ヲ假テ見ル如ク吾德ヲ脩ントナラバ智者ニ訪尋
子テ是非ヲ分別スベキ筈ナルニ却テ善言ヲユバミ諛言ヲ聽

フハイカナル心ゾヤサアレバ自分ノ智ヲ増フハナ

クテイヨク愚暗ニナル是甚シキ迷ヒナリトナリ

良由逆耳之辭難受順心之說易從。

逆耳モノハ忠言ナリ順心モノハ諛
言ナリ諛言ハ暗君ノ心ニサハラズ

彼難受者藥石之苦喉也此易從者鳩毒之
甘口也。

藥石ノ二字ハ古書ノ中ニ連言エ卫ニ爰ニモ藥石云々トイヘ
ルノミ、石ハ石針ニテ、砭压イフモノナレバ、本ヨリ煮テ飲モノ
ニ非ズ、苦喉トハチト云ニクキヤウナレ、爰ニテハ深ク其義
ニ掬ラズ、唯藥石ノ二字ヲ良藥ヲ云ト見テオクベシ、鳩ハ毒鳥
ノ名ナリ、其羽ヲ酒ニ漬テ飲寸ハ人ヲ殺トナシ、史記ニ良
藥苦口利於病、左傳ニ宴安鳩毒不可懷也、トイヘル意ナリ
藥苦口利於病、左傳ニ宴安鳩毒不可懷也、トイヘル意ナリ
故明主納諫病就苦而能消暗主從諛命因
甘而致殞可不誠哉。

病ハ我不善ノ事ニタトス、命
殞トハ身亡國滅ニタトフ

帝範上卷終

